

2023年10月27日

2社の「SDGs宣言」策定を支援

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先2社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

あわせて、さいたま市の「SDGs企業認証制度」^注申請支援も行っております。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

注 「さいたま市SDGs企業認証制度」

- ・さいたま市が2021年より開始した、SDGsの理念を尊重した経営を推進する市内企業を認証する制度で、企業の持続的成長に向けた取組みを後押しすることを目指しています。
- ・当行は、市内企業におけるSDGsの取組み推進に貢献するため、さいたま市との包括連携協定に基づき「むさしのSDGsコンサルティング」のサービスメニューに本制度の認証取得に向けた支援を加えています。

《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) 株式会社 安西建設（さいたま市SDGs企業認証制度申請支援）
- (2) 有限会社 修幸建設（さいたま市SDGs企業認証制度申請支援）

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	株式会社 安西建設	有限会社 修幸建設
代 表 者	代表取締役 安西 誠	代表取締役 小泉 修一
所 在 地	埼玉県さいたま市見沼区春岡3丁目27-18	埼玉県さいたま市緑区松木1丁目4-7
業 種 お よ び 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土木建設工事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道設備工事業 ・ マンホール鉄蓋交換工事業 ・ 土木工事業
創 業 お よ び 設 立	1984年11月14日	1999年1月29日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会実現のため、先進的工法による環境負荷軽減工事を拡大させる ・ 多様な従業員が安心して働くことができる『ダイバーシティ経営』を推進する ・ 事業の環境負荷を低減していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会実現のため、新技術によるインフラ構築へ果敢に取り組む ・ 地域人材や女性を積極採用し、ダイバーシティ経営を推進する ・ 従業員が安心して働くことができ、スキルアップできる職場 ・ 事業の環境負荷を低減していきます



2023年9月28日

株式会社安西建設 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 安西 誠

SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能な社会実現のため、先進的工法による環境負荷軽減工事を拡大させる

- ・主にさいたま市内の上下水道工事を行っている当社は、持続可能なインフラ構築のため、先進的工法である『配管更生工事(※)』の受注を拡大させていくことで、上下水道工事の環境負荷軽減に取り組んでいきます。
- ・公共上下水道工事を通じ、自然災害、特に水害から地域のライフラインを守っていきます。



(※) 配管更生工事とは、古くなった配管を取り外して新しい配管を取り付ける『更新工事』とは違い、古い配管の中を研磨洗浄したうえで特殊な樹脂をコーティングする工事のことです。古くなった配管の中に新しいパイプを作る工法であり、経済的かつ短期間で施工できるため、SDGsの観点から注目されています。

【指標】

2023年 受注全体に占める『配管更生工事』件数の割合 0% ⇒ 2030年 15% (+15%)

多様な従業員が安心して働くことができる『ダイバーシティ経営』を推進する

- ・ワークライフバランスが実現できる職場を目指すため、有給休暇取得率の向上を目指します。また、人事評価制度の導入により従業員の成長を促していきます。
- ・今後は、地域からの人材採用（特に高齢者や外国人）を更に増やしていきます。さらに、子育てが落ち着いて再び働きたい女性を積極的に採用していきます。
- ・必要な資格取得者を増やしていくとともに、若手に技術を承継し技術者を育成していきます。



【指標】

2023年 高齢者の雇用割合	14%	⇒	2030年	23%	(+7%)
2023年 外国人の雇用割合	9%	⇒	2030年	23%	(+14%)

事業の環境負荷を低減していく

- ・社用車や重機・自社機械を環境配慮型の車両や機械へ入れ替えていきます。
- ・太陽光パネルを本社に設置して自家消費していくほか、LED照明化や各種の節電策により、CO₂排出量を削減していきます。
- ・工事にリサイクル資材を使用していくほか、現場での産業廃棄物の分別処理を徹底していきます。



【指標】

2023年 環境配慮型車両の比率 3.4% ⇒ 2030年 31% (+27.6%)



2023年10月19日

有限会社修幸建設 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 小泉 修一

SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能な社会実現のため、新技術によるインフラ構築へ果敢に取り組む

- ・当社の強みであるマンホール特殊工事『G-GRIP工法(※)』を今後も拡大し、持続可能なインフラ構築により、地域のライフラインを守っていきます。
- ・また、鍵付きマンホール鉄蓋交換を推進し、水害時に冠水道路のマンホールに吸い込まれる事故を防止していきます。

(※) G-GRIP工法とは、マンホール鉄蓋円形交換工法のことです。円形カッターを用いてアスファルトを切断した後、すぐに復旧作業が可能な方法です。従来工法に比べて施工時間は大幅に短縮(3日⇒半日)され、経済的かつ交通渋滞の緩和が可能なうえ、従来工法に比べて強度もあり、長寿命です。

【指標】

2023年 G-GRIP工法による工事の受注件数 約100件 ⇒ 2030年 500件 (+500%)



地域人材や女性を積極採用し、ダイバーシティ経営を推進する

- ・事業の拡大を計画していることから、地域人材を積極的に採用していきます。
- ・お互いにコミュニケーションのしやすい職場づくりを推進し、多様な働き方に関する制度を充実させ、再就職したい女性を積極的に採用していきます。
- ・女性のリーダー職を計画的に育成していきます。

【指標】

2023年 地元人材の採用数 12名 ⇒ 2030年 30名 (+18名)

2023年 女性従業員の数 2名 ⇒ 2030年 8名 (+6名：うちリーダー1名)



従業員が安心して働くことができ、スキルアップできる職場

- ・更にワークライフバランスが実現できる職場を目指すため、有給休暇取得率100%継続や、人事評価制度導入により従業員の成長を促していきます。
- ・従業員の健康が第一であることから、現場での事故やケガを防ぐための様々な取り組みを行っていきます。
- ・業務に不可欠な資格取得者を増やしていきます。そのために、資格取得に係る費用を補助していくほか、資格手当を積極的に支給していきます。



事業の環境負荷を低減していきます

- ・環境に配慮した社用車(乗用車、トラック)や重機への入れ替えを進めていきます。
- ・産業廃棄物の分別管理やリサイクルを徹底していくほか、リサイクル骨材の利用を促進していきます。
- ・業務のシステム化を行い、社内のペーパーレス化も進めていきます。

